



## 1日限定のカフェをオープン

東高カフェ+ (プラス)・2/5

No.4

三楽荘で「東高カフェ+ (プラス)」が開催され、東城高校の生徒が考えたブレンドコーヒーセットが販売されました。

東城高校では、生徒が地域の人と協力し、「東城まちなみイルミネーション」や「東高カフェ」の来店など、東城市街地のにぎわい創出に取り組んでいます。

当日は東城高校の生徒7人が参加し、コーヒー豆を厳選して作られたブレンドコーヒーと手作りのクッキーを提供しました。

来場者は「コーヒーの香りに誘われて来た。この取り組みが続き、定期的にカフェを開催してほしい」と話しました。



▲コーヒーセットを販売する東城高校の生徒

## 芸備線の思い出が並ぶ

「つながる芸備線」展・1/15～31

No.3

東城まちなか交流施設えびすで「つながる芸備線」展が開催されました。

これはフェイスブックグループ「東城っていいね」のメンバーが、芸備線に興味のある人の輪を広げるために企画したものです。

会場には、市内外から寄せられた芸備線に対する思いのこもった写真や絵画など100点が所狭しと施設全体に飾られました。

また、持ち寄り写真展示コーナーや昭和37年のモノクロ映像が再生されるなど、訪れた人は当時の駅のにぎわいを思い起こし、芸備線沿線の四季折々の景色や鉄道グッズに触れ楽しんでいました。



▲芸備線の風景がずらり

## 雪だるまが乗客をお出迎え

備後西城駅で雪像づくり・2/2

No.6

NPO法人西城町観光協会が雪だるまづくりを企画し、西城保育所の園児10人と西城紫水高校の生徒3人が参加しました。

これは、四季を通じた西城の魅力の発信と、芸備線の利用促進につなげる活動の一環として行われたものです。

今回は、備後西城駅前の空き地を活用し、園児と生徒が協力し和気あいあいとした雰囲気の中で、大小さまざまな大きさの雪だるまが製作されました。

また、これらの雪だるまは備後西城駅に停車した際、乗客に楽しんでもらえるように、車窓から見える位置に設置されました。

同協会の岡崎優子さんは「ぜひ芸備線に乗って西城の景色を楽しんでほしい」と話しました。



▲完成した雪だるまと車窓を見送る参加者

## 白銀の世界で大熱戦

雪合戦ひろしま 2023in 高野・2/5

No.5

第26回広島県雪合戦大会「雪合戦ひろしま 2023in 高野」が高野スポーツ広場で開催され、県内外から36チームが参加しました。

コロナ禍で3年ぶりに行われた大会当日は、積雪量・天候ともに恵まれた絶好の雪合戦日和となり、会場には終日、選手・観客の音が響き渡りました。

また、雪中宝探しゲームや、雪だるまに雪球を当てるピクトリースローのイベントも行われ、子どもから大人まで雪を満喫していました。

大会委員長の加島俊次さんは、「3年ぶりの大会には少し不安もあったが、多くの皆さんが楽しんでいる様子を見ることができ、とてもうれしい。次回もぜひ来ていただきたい」と笑顔で話しました。



▲雪上コートで熱い戦い

## 英語でコミュニケーション

令和4年度庄原市外国語教育推進のためのALT複数配置の取り組み

教育  
指導課

市教育委員会は、市内の全小中学校へALT(外国人指導助手)を配置しています。また、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、ALTを複数人派遣する取り組みを、市内の6校で実施しました。

ALT複数配置では、1日最大6人のALTが小中学校を訪れ、授業や休憩時間に児童生徒とコミュニケーションを図る活動を行いました。小学校低学年は、身近な英語に慣れ親しんでもらうため、ビンゴゲームやインタビューを行ったほか、買い物や読書を想定した授業を行いました。ALTが店員役となり、児童と買い物を取り取りを行いながら、日常生活で使用する英語を学びました。



店員役のALTに英語で買いたいものを伝える児童

小学校高学年では、英語での自己紹介を行い、ALTと交流しながら、お互いの思い出を伝え合いました。また、全校児童が参加できる「子供国際教室」を開催し、外国の文化について学び、ALTが絵本の読み聞かせをしたりする小学校もありました。

## Camera Report カメラレポート



## 詐欺の手口を地域で学ぶ

消費者啓発映画上映会・2/5

No.2

〇和町の金田集会所で、消費者啓発映画「なぜ、騙されるのか?」の上映会が行われ、地元住民8人が参加しました。これは、〇和自治振興区が啓発推進のために、同映画のDVDを貸し出ししており、金田自治会が学習会として利用・企画したものです。

映画は、自分だけで判断することの危険性や周囲とのコミュニケーションの大切さを描いた作品となっており、最初は談笑していた参加者も映画が始まると、全員真剣な表情で鑑賞していました。

参加者は「契約など、何かを決めるときは家族や周囲に相談し、即断即決しないことが大切だと感じた」と話しました。



▲真剣に鑑賞する参加者

## 春の訪れを告げる

節分草自生地公開・2/18～3/5

No.1

総領町内の7カ所で、市天然記念物「節分草」の自生地が公開されました。

節分草はその名の通り、1月下旬から3月上旬の節分の時季に開花する山野草で、小さな白い花が特徴です。

公開初日は、霧雨が降るあいにくの天候でしたが、公開を待ちわびていた多くの人が訪れ、花を眺めたり写真を撮ったりしながら思い思いに楽しんでいました。

また、期間中は地域団体によるバザーの出店や山野草寄せ植え教室、絵手紙教室が行われました。

雨天にも関わらず訪れた人は「この日を楽しみにしていた。天気の良い日には、フワッと甘酸っぱい花の香りがするので、また何度も見に来たい」と話しました。



▲雨の中で元気に花開く節分草